滋賀県議会だより
第17号 令和4年3月

海東（かいとう） 英和（ひでかず）

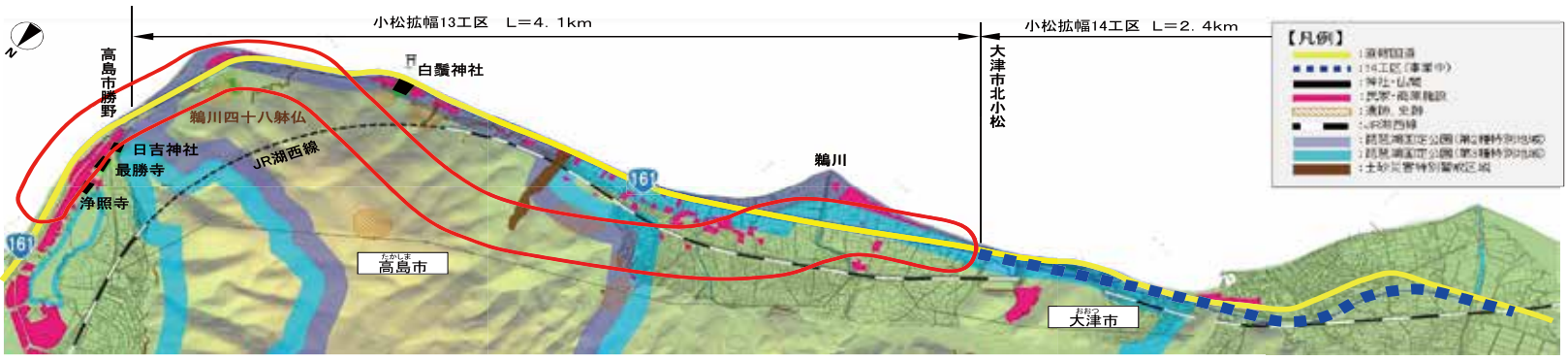
ＱＲコード対応の携帯電話をお持ちの方は、画像を読み込み、サイトにアクセスしていただくことで、県政報告会の様子をご覧になれます。

海東英和県議会議員事務所
〒520-1501 高島市新旭町旭1-8-5 電話 0740-25-0777 FAX 0740-25-0778
Mail：web_info@hi-kaito.com ホームページ http://hi-kaito.com

3月12日（土）に、今津の平和堂前でウクライナ人道危機救援募金を呼びかけられた高島市地区赤十字奉仕団の皆さんの写真です。20日（日）にも安曇川道の駅で募金活動をされ、この間に新旭俳句クラブ有志様はじめ沢山のお気持ちが寄せられ、合わせて26万円を超えました。募金は全額、日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金に託されます。

今津町酒波の「竹生の桜」はじめエドヒガンザクラ巡りはナイス！です。本年６月の全国植樹祭（甲賀市）で皇后陛下がエドヒガンをお手植えされる予定です。（R2.4.4撮影の竹生の桜）

R161白鬚トンネル（仮称）実現へ朗報



2月26日に国土交通省と県の間で「手交式」が行われ、北小松トンネルに続く北進ルートを、国の調査結果をもとに、県が山側バイパスルートで都市計画事務を進め具体化すると確認しました。14工区で一旦休止することを心配してきましたが、鵜川に向かって北小松トンネルを抜け、湖西線の高架を越えて、白鬚さんの裏山をトンネルで抜いていく工事（13工区）を休まず進める段取りになります。地元の皆様はじめ、市民各位のご協力をお願いします。

ラムサール登録湿地を活かせ

滋賀県は、生き物田んぼ米や、魚のゆりかご水田、環境こだわり米などにも熱心に取り組んできました。

琵琶湖は、ラムサール条約登録湿地です。全国的にはトキ米やコウノトリ米、赤とんぼ米など、生き物と共生するブランド米で、消費者の応援をうけ、農の好循環につなげています。高島は生き物田んぼや、有機栽培の先進地域です。

このお正月にもヨシ原にコウノトリが数日間、餌を啄んでいました。生存環境が優れている証です。命の繋がる「里山」の仕組みが国民の財産です。みんなで高めてまいりましょう。生物多様性に県がしっかりコミットしていくことを確認しました。

コウノトリの採餌 （R4.1.10 撮影）

ホールの子事業 交通費全額県負担に

小学生をびわ湖ホールに招待し、オーケストラの演奏やオペラを体験する事業は、これまで交通費が半額負担でしたので、高島市の小学校には経費の負担が重い事業でした。

昨年来、自民党政調会から子どもたちに公平な条件を実現する要請を重ね、令和4年度から貸し切りバス等が全額県負担となり、希望によりびわ湖ホールだけでなく博物館や美術館など一日フルに学習に使える制度に変更されます。市にも小学校にも吉報です。ご活用いただけると幸いです。

これまで熱心にご参加くださっている朽木西小学校の皆さんのS席の中央で開演を待つ様子です。

令和４年度予算から抜粋

- 高島高校他4校トイレ整備……6億6807万円
- 安曇川高校ウェイトリフティング場改築（県産木材活用）他施設整備……2億5978万円
- 湖西地域県立高校魅力化推進……478万円
- カワウ対策事業……1443万円
- ニホンジカ対策……1億3918万円
- ニホンザル対策……1400万円

県議会 高島市は、定数2に

県議会議員の定数見直し検討の結果、定数は44で現行通りとし、長浜市が1減、守山市が1増となりました。原案では大津市の1増と高島市の1減も検討されましたが、1票の格差や、地域の声を反映する責務などが考慮され、高島市は定数2に決定しました。

耕運記

コロナの感染拡大も峠を越えたでしょうか。次なる変異株も確認されており、治療薬の普及が待たれます。コロナ予防は、自己免疫力を高めることが一番。滋賀県は男性が81・78歳で全国1位。女性が87・57歳で全国4位の長寿県です。食べる！しゃべる！歩く！で更に健康長寿を延ばしましょう。

総務・企画・公室常任委員会では三方よしの契約条例やCO_2ネットゼロ条例を担当しました。議員提案では、ビワイチ条例と教育の充実を推進する条例を成立させました。コロナを克服する経済対策もご活用願うと共に、無利息融資の返済も迫ってきます。商工会や金融機関に早めにご相談ください。雪で長く耐えた分、桜が一気に咲きそうです。